

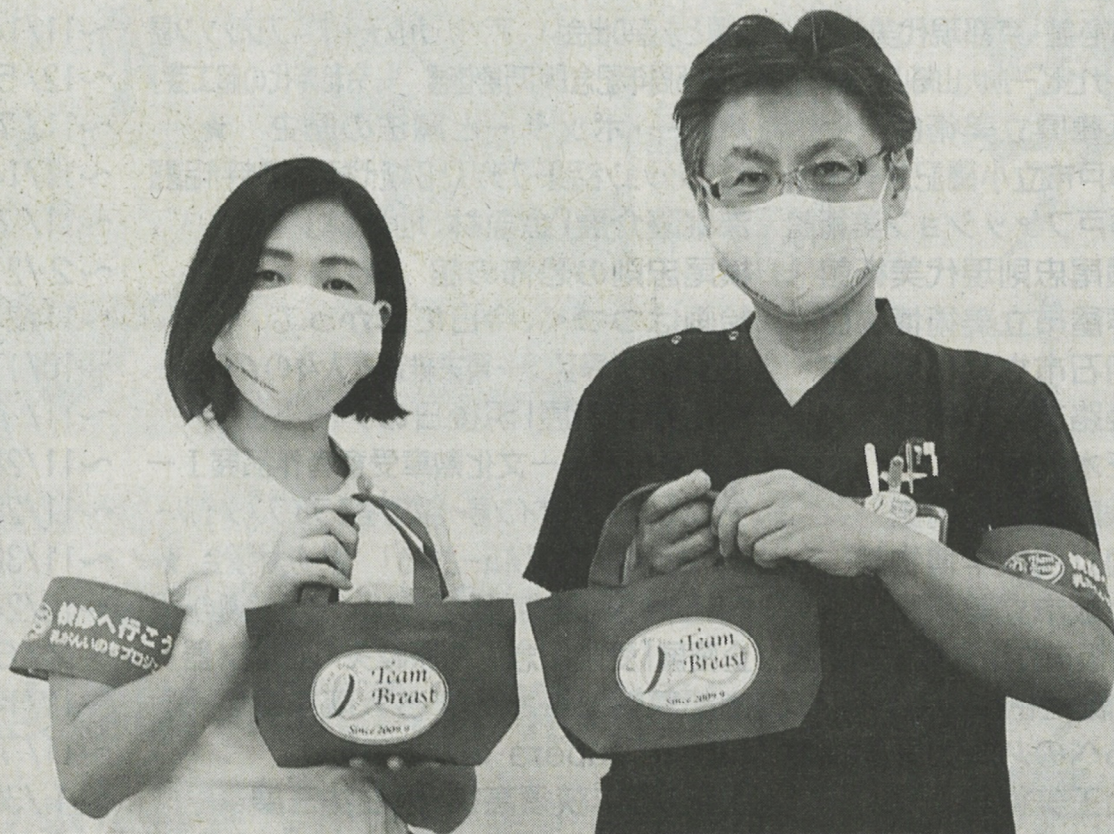
バッグ見たら検診を

ピンクリボン運動 啓発へ病院製作

10月7日(木)

2021年(令和3年)

発行所：大阪市北区梅田3丁目4番5号
〒530-8251 電話(06)6345-1551
毎日新聞大阪本社



製作したトートバッグを
手に、腕章も着用し、乳
がん検診受診を呼び掛け
る梅村センター長(右)
ら＝橋本市で

橋本

乳がん撲滅を
目指すピンクリ
ボン運動で、橋

本市岸上の紀和病院・
紀和ブレスト(乳腺)
センターは5日、啓発
用の腕章とオリジナル
トートバッグを製作し
たと発表した。

「検診に行こう!乳
がんいのちプロジェクト」
との文字の入った
腕章を職員ら50人が31
日まで着用する。ショ
ッキングピンクのバッ
グは、ピンクリボン
デザインしたセンター
のマークが入る。市民
らに外出時に使っても
らい、啓発につなげる
のが狙いだ。

センターなどでは
「乳がんいのちプロジ
ェクト実行委員会」を
結成し、早期発見や検
診の大切さを伝える乳
がん月間の10月に毎
年、啓発活動をしてい

る。新型コロナウイルス
の感染防止のため、
講演会を開催できない
ことから、センターで
は地域住民らと一緒に
できる啓発方法を検討
してきた。

今回、バッグを持ち
歩いてもらう「乳がん
検診啓発サポーター」
(定員100人)を募
集している。病院内の
健康管理センターで、
土日祝日を除く午後
1〜5時に登録用紙に
必要事項を記入して
もらった人にバッグ
を渡す。バッグを持っ
た啓発の様子を撮影
し、写真を31日までに
センターでメールで送
る。

センターの梅村定司
センター長は「乳がん
は早期発見で90%以上
の確率で治癒できる。
早期発見のために検診
をしっかりと受けていた

だくことを発信した
い」と話していた。問
い合わせは実行委(0

736・34・131
7)。
【藤原弘】